



文部科学大臣杯

第32回全国高等学校対抗 ボウリング選手権大会

2025年12月20日・21日

MKボウル上賀茂



主催 公益財団法人JAPAN BOWLING

後援 スポーツ庁

公益財団法人全国高等学校体育連盟

公益財団法人京都府スポーツ協会

協力 日本ボウリング機構（JBO）

公益社団法人日本ボウリング場協会

MKボウル上賀茂

主管 一般社団法人京都府ボウリング連盟

この事業は公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団の助成を受けて実施しています

大会専用ホームページ →





文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

祝　　辞



文部科学大臣　松本　洋平

文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会が、全国から多数の高校生の参加を得て、盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

今年は「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が開催され、さらに来年には「第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）及び「愛知・名古屋2026アジアパラ競技大会」が開かれる予定です。スポーツへの「する」「みる」「ささえる」という多様な形での参画を通じて、障害の有無等にかかわらず、より多くの人が多様性を尊重し、スポーツから楽しさや喜びを得ることは、我々の社会に活力を与えてくれます。

本大会は「ボウリングの甲子園」とも呼ばれ、競技の普及振興に大きな役割を果たしてきた大会と伺っております。心身が大きく成長する高校生の時期に、真摯にボウリングに取り組むことは、生活をより豊かにするとともに、我が国のスポーツ振興に大きく寄与するものです。

本大会に出場される皆さん、これまで支えてくれた方々への感謝を忘れず、日々の練習の成果を存分に発揮するとともに、全国から集まったボウリングを愛する仲間たちとの親睦を大いに深めてください。本大会での貴重な経験が、皆さんのが今後の人生における大きな財産となることを願っています。

結びに、本大会の開催に御尽力された公益財団法人 JAPAN BOWLING をはじめ、多くの関係の皆様に敬意を表しますとともに、本大会の成功を祈念して、お祝いの言葉といたします。



ご挨拶

第32回全国高等学校対抗選手権大会 会長

公益財団法人 JAPAN BOWLING 会長

丹羽秀樹

文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会の開催にあたり、
ご挨拶を申し上げます。「ボウリングの甲子園」を掲げる本大会を盛大に開催できま
すことは、主催者としてこの上ない喜びであります。

高等学校の部活動はいま、生徒たちの個性を反映し多様化しています。ボウリング
においても、部活動として取り組む生徒たちは同世代の仲間たちと切磋琢磨し、アス
リートとして、また人として成長する姿を見せてくれます。

こうした選手さんの、日々の努力の成果を披露する場として、この全国高校学校
対抗選手権大会があります。本大会で学校の名を背負い仲間とともに挑む経験は、今
後もボウリングに邁進する糧となり、さらなる活躍への礎となることでしょう。選手
の皆さん、練習の成果を十分に発揮されるよう祈念いたします。

そして、ご家族、先生方、指導者、地域の皆様が、常に高校生たちを温かく見守り
支えてくださることに、心より感謝申し上げます。

終わりになりましたが、本大会の開催にご理解ご尽力賜ります京都府、京都市の皆
様と、会場のMKボウル上賀茂様、主管の一般社団法人京都府ボウリング連盟と、ご
後援ご協力いただきました関係各位に厚く御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。



文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会



ご挨拶

一般社団法人 京都府ボウリング連盟 会長

田坂幾太

文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会がここ京都府京都

市において開催されるにあたり一言ご挨拶申し上げます。

「ボウリングの甲子園」とされる本選手権大会が、全国各地から多くの選手・役員の皆様方をお迎えし、盛大に開催されます事は主管連盟として大きな喜びであり、皆様方を大いに歓迎申し上げる次第でございます。

参加選手の皆様は所属の高等学校の栄誉を目指し精一杯頑張って頂くとともに、選手同士の親交も深めて頂きますようお願いいたします。

京都は世界遺産に登録された寺社仏閣をはじめ、歴史・文化に触れられる世界有数の観光名所でもあります。競技は競技として真剣にお取り組み頂き、折角の機会ですので京都の名所・旧跡をご散策賜れば幸いに存じます。

結びに当たり、会場をご提供頂きましたMKボウル上賀茂様をはじめ今大会開催に向けご支援ご協力賜りました関係各位に、心から御礼と感謝を申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。



開 催 要 項

- 競技種目** : 男子の部 各学校対抗 2人チーム 女子の部 各学校対抗 2人チーム戦
- 競技方式** : デュアルレーン方式(アメリカ方式)で実施する。
- 競技方法** : 予選 男子・女子とも1人9ゲームの競技を行い(1ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点(チーム18ゲーム)の上位8チームが決勝トーナメントに進出する。
決勝 男子・女子とも上位8チームにより、1ゲームマッチのトーナメントを行い、その成績により優勝校並びに順位を決定する。
- 競技規程** : (公財) JAPAN BOWLING 制定のボウリング競技規則並びに選手権競技会規程による。
- 同位の裁定** : 予選において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。
決勝において対戦チーム同士が同点の場合は各チーム1名の競技者による9・10フレームの決定戦により順位を決定する。敗退したチームが同点の場合、予選順位の上位チームを上位とする。
- 参加資格** : 2025年度公益財団法人 JAPAN BOWLING 高等学校登録会員、またはジュニア会員の高等学校在学者に限る。ただし、満18歳未満(2025年4月1日現在)とする。
- チーム編成** : 男子・女子とも、各学校単位でチームを編成(2名)すること。
補欠選手登録は1チーム1名とする。
- 褒賞** : 男子校・女子校とも 優勝～第8位まで
※男子・女子優勝校には文部科学大臣賞状及び文部科学大臣杯を授与する
個人ハイゲーム賞・個人ハイシリーズ賞(男子・女子別 予選9ゲームを対象とする)
- 特典** : 第32回大会男子・女子優勝校は、第33回大会のシード校とする

<注意事項>

- ① 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や感染症の流行等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- ② 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証(原本または写し)を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
- ③ 参加申込にあたっては、申込書に学校長承認印を捺印のこと。
- ④ 原則として各都道府県にて予選会を行い、参加チームを選出すること。
- ⑤ 今大会、各都道府県連盟旗は不要。
- ⑥ 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。
- ⑦ 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から(特別会員は4個目から)1個につき500円の登録料を納めるものとし、5個目からは特別保管料として1個につき1,000円を追加徴収する(公認ゲーム600ゲーム以上達成者は、7個目まで特別保管料を免除し、8個目から1個につき1,000円を追加徴収する)また、ボールの追加登録は原則として認めない。
- ⑧ 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- ⑨ 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- ⑩ 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
- ⑪ 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
- ⑫ 会場にボールバック等を送る場合は12月18日(木)午後以降の到着で送ること。
- ⑬ 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報(氏名・年齢・性別・記録・肖像等)は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用権は主催者に属する。
- ⑭ 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報(肖像を含む)およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。



文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

大 会 役 員 名 簿

大会会長	丹 羽 秀 樹	(公財) JAPAN BOWLING	会 長
大会副会長	西 林 康 憲	(公財) JAPAN BOWLING	副会長
〃	田 坂 幾 太	(一社)京都府ボウリング連盟	会 長
大会委員長	齋 藤 良太郎	(公財) JAPAN BOWLING	専務理事・事務局長
大会副委員長	松 下 秀 雄	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事
大会総務委員長			総務委員長
大会副委員長	柳 川 弘 行	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事
大会総務委員長			競技委員長
大会副委員長	奥 享 子	(一社)京都府ボウリング連盟	副会長
〃	芦 田 利 行	(一社)京都府ボウリング連盟	副会長
〃	横 田 正 一	(一社)京都府ボウリング連盟	副会長
大会審判委員長	伊 藤 一 明	(公財) JAPAN BOWLING	競技副委員長
大会広報委員長	村 松 加王里	(公財) JAPAN BOWLING	総務委員
大会認証委員長	四 宮 和 裕	(公財) JAPAN BOWLING	指導委員長
大会資格審査委員	高 橋 尚 代	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	上 田 暢 子	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	野 口 由 美	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	根 田 光 朗	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	森 永 耕 造	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	小 林 穂	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	川 上 秀 樹	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	飯 島 祥 行	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
〃	山 下 知 且	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
	亀 島 愛 永	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
	笹 川 麻利恵	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
	中 塩 博 美	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
	石 嶺 可奈子	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
	吉 田 由美子	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
	川 口 美 永	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
	由 中 信 安	(公財) JAPAN BOWLING	理 事
大会事務局	鈴 木 信 吾	(公財) JAPAN BOWLING	事務局
〃	羽 島 尚 吾	(公財) JAPAN BOWLING	事務局



競 技 役 員

大会競技役員長	奥 享子	(一社) 京都府ボウリング連盟 副会長
大会競技副役員長	芦田 利行	(一社) 京都府ボウリング連盟 副会長
大会競技副役員長	横田 正一	(一社) 京都府ボウリング連盟 副会長
大会総務部長	岡部 俊樹	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会競技部長	森下 潤	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会審判部長	中島 美紀	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会認証部長	石野 裕也	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会記録部長	平田 直也	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会広報部長	秋元 充秀	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会褒賞部長	松本八重子	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会運営委員	内藤 茂	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会運営委員	大野 和幸	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会運営委員	新井 龍将	(一社) 京都府ボウリング連盟 理事
大会事務局	大司 秀樹	(一社) 京都府ボウリング連盟 事務局

大会審判員 【第1種】 播本 雄輔・大司 秀樹・森下 潤

奥 享子・岡部 俊樹・横田 正一

【第2種】 中島 美紀

【第3種】 山田 潤・松本八重子・平田 直也

大会ボール検査員 奥 享子・石野 裕也・山田 潤

今井 和也



文部科学大臣杯第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

競技日程

月　日	時　間	内　容
(第1日目) 12月20日(土)	7：30	センター開場
	7：45～8：30	男子A組・女子
	8：00～8：30	監督・引率者会議
	9：00～9：15	開　会　式
	9：30～11：10	男子A組・女子1回戦
	9：45～10：30	男子B組
	11：20～13：00	男子B組1回戦
	13：10～14：50	男子A組・女子2回戦
	15：00～16：40	男子B組2回戦
	16：50～18：30	男子A組・女子3回戦
	18：40～20：20	男子B組3回戦
(第2日目) 12月21日(日)	8：00	センター開場
	8：15～8：30	決勝出場校受付
	9：00～9：40	決勝トーナメント1回戦
	9：55～10：35	決勝トーナメント2回戦
	10：50～11：30	決勝トーナメント決勝
	12：00～12：30	表彰式・閉会式

※ 競技の進行状況により開始時間が前後する場合があります。



競技規則(抜粋)

第133条 (同位ピンの裁定)

- 競技の勝利の決定について、個人又はチーム戦の得点が同点の場合、次のとおり裁定する。
- (1) シリーズにおいて同点の場合は、最高ゲームと最低ゲームの差の最も少ないものを上位とする。
 - (2) 2シリーズ以上の競技において同点の場合、最高シリーズと最低シリーズの差の最も少ないものを上位とする。
 - (3) 1ゲームのスコアが同点の場合及び第1号の得点差が同じ場合は、個人又はチーム戦で第10フレームまでを含めたストライク数の多いものを上位とする。
 - (4) さらにストライク数が同じ場合は、スペア数の多いものを上位とする。
 - (5) スペア数が同じ場合は、ともに勝者とするか、又はさらに1ゲームの決勝戦を行い、勝者を決定する。
ただし、競技要項にほかの方法で規定している場合は、その規定による。

第134条 (スローボウリング)

- 競技者は自分の投球順が来たら投球できるよう準備をしておき、左右のすぐ隣のボックスが空いているときは、アプローチまたは投球の開始を遅らせてはならない(1ペアレーンカーティン／1ボックス牽制)。
- (1) 競技者は常に1ペアレーンカーティンを遵守すること(ただし、競技会ごとのルールで指定できるものとする)。同じボックスの競技者は、左右のボックスでそれぞれ1名の競技者が投球を完了しない内に連続して投球することはできない。
ただし、左右のボックスの競技者の投球準備ができていない場合、または順番を譲った場合は除く。
 - (2) 競技者が前項の手順を遵守しない場合、スローボウリングと判定する。これらの手順を遵守しない競技者は、競技会役員から以下のように宣告を受けるものとする。
 - (イ)初回の違反には注意(ペナルティなし)
 - (ロ)2回目の違反には警告(ペナルティなし)
 - (ハ)1日のシフトごとに3回目以降の違反にはペナルティとしてそのフレームを0点とする。
 - (3) 審判員は本規定の施行を解釈するために、最も進行の早いところと比べて、1レーンに1名又は2名で競技する場合は原則として4フレーム以上、3名以上で競技する場合は2フレーム以上遅れている競技者またはチームを特に監視するものとする(ただし端のレーンは除く)。

第136条 (ボウリングボールの表面調整及び表面加工)

- ボウリングボールの表面調整及び表面加工については次のとおりとする。
- (1) 化学物質を使った製品は、IBF Webサイト(www.IBF.org)内の「使用可能製品リスト(Acceptable list)」の「公認競技中に使用可能(Acceptable during certified competition)」に記載されているもののみを使用可能とする。「固体または研磨剤を含む製品(Products Containing Solids or Abrasives)」、また「いかなる場合も使用不可(Not acceptable at any time)」に記載されているものは一切使用できない。ボールを調整及び加工した後は、表面を必ずきれいに拭き取らなければならない。
 - (2) 手によるボールの表面調整は、ゲーム間(その競技者がゲームを終了してから、次のゲームの第一投を投球するまでの間)に指定されたエリア内で、他の競技者の競技に遅延をさせないという条件で許可される。
 - (3) ボールの表面加工は上記以外に、公式練習中、競技直前の練習ボール中、及びシフト間に指定されたエリア内でのみ許可される。
 - (4) ゲーム中にボールの表面調整及び加工をすることは認められない。ゲーム中に表面調整及び加工をおこなった場合、そのゲームは0点とする。

第406条 (遅刻)

競技者は、競技開始予定時間の30分前までに、あらかじめ定められた場所に集合し、受付を通過する。通過しない場合は、その種目は失格となる。

第407条 (ボウラーズエリア)

- 選手権競技会において競技者、観客に識別できるようボウラーズエリアを定めるものとする。
- 2 各団体において、ボウラーズエリアに入ることのできるのは監督又はコーチのいずれか1名とする。ただし、各選手権競技会において別の定めがある場合、この限りではない。
 - 3 ボウラーズエリアに入ることのできる範囲は、自チームの競技しているボウラーズエリア内とする。

第410条 (使用ボール)

- 選手権競技会に使用するボールは、次の各号に基づいて使用するものとする。
- (1) 選手権競技会に出場する者の使用ボールは、すべて競技会開始日の最新のUSBC公認ボールリスト(<https://bowl.com/approved-ball-list>)に掲載されているボール又はこの法人の公式認定ボールで認証検査に合格したものであること。また、常にこの法人規定の「ボール検査合格証」を携帯していなければならない。
 - (2) 合格したボールでも、表面にテープ、ペンキ等で目印をしたり、明らかに故意にキズをつけた場合は、失格とする。
 - (3) ボールの表面調整及び表面加工については、競技規程第136条を適用する。
 - (4) 競技者は、大会に使用するすべてのボールを登録しなければならない。
 - (5) 1991年1月1日以降に製造されたボールのみ使用が認められる。
 - (6) 上記のほか、競技規程第135条を適用する。

第418条 (競技者の服装)

選手権競技会に参加する競技者の服装は、競技規程第137条及びこの法人の服装規則を遵守すること。

第419条 (競技中の飲食、喫煙)

競技中の飲食、喫煙は一切禁止する。ただし、アルコールを含まない飲料をボウラーズエリア以外の指定された場所で飲むことは許される。また、競技者はボウラーズエリアをみだりに離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず審判員に申し出て承認を得なければならない。

※ その他は、すべてこの法人の競技規則を適用する。

【注意事項】

- ※ 競技会及び選手権大会の競技中2個以上のボールを使用する場合は、次のことを厳守して下さい。
 - (イ) 競技中、特別の指示がある場合を除きボールラックには1人1個のボールしか置くことはできない。
 - (ロ) 競技会および選手権大会では、競技開始前に主管認証部へ会場に持ち込んだ全てのボールを登録しなければならない。その際の登録料は、2個目から1個につき500円の登録料を納めなければならない。また、5個以上を登録する場合は、別途の料金が必要となる。
 - (ハ) 競技中にボール交換のために、他の競技者に迷惑をかけたり、競技進行に支障を生じさせた場合は、スローボウリング(競技規程第134条)の適用を受ける場合がある。
- ※ 大会には、ボールの持込を1人4個以内に自粛するよう指導事項となっております。ご協力ををお願いいたします。
- ※ 大会会場に4個以上持ち込んだ場合でも、競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とします。
ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにしてください。
競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行ってください。
- ※ 競技者が最初の投球を行った後、負傷により同じ利き手で投球を続けることが不可能であると判断しない限り、競技会中その手を使い続けるものとします。競技者は利き手と反対の手で競技を続行するために競技会役員の承認を求めることができます。(競技規程第135条)
- ※ ハイゲーム、ハイシリーズ賞とも同点の場合は、該当者全員を表彰します。(選手権競技会規程第414条)



文部科学大臣杯 第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

参 加 校 一 覧

No.	都道府県名	学 校 名	チ ム 数		監 督 代表引率者	引 率 者
			男 子	女 子		
1	北海道	立命館慶祥高等学校	1		深見 義明	橋本 和美
		北海道札幌東商業高等学校	1	1		深見 義明
2	青 森	八戸工業大学第一高等学校	1		工藤 壽紀	工藤 壽紀
		青森県立青森工業高等学校	2			福士 徳生
		青森県立弘前工業高等学校	1			石動 順司郎
		青森県立弘前高等学校	1	1		長内 秀文
		弘前学院聖愛高等学校	1	1		今野 裕一
		千葉学園高等学校		1		西山 韶
3	山 形	学校法人山形電波学園 創学館高等学校	2		寺尾 悟	寺尾 悟
4	栃 木	文星芸術大学附属高等学校	1		小林 誠	小林 誠
5	群 馬	太田市立太田高等学校		1	近藤 亮二	大谷 淳
		高崎商科大学附属高等学校		1		—
6	東 京	本郷高等学校	1		佐藤 一雄	後藤 高弘
		青稜高等学校	1			林 和男
		堀越高等学校	2			宮館 聰一
		日本体育大学荏原高等学校	2			中田 昌博
7	神奈川	新名学園 旭丘高等学校	1	1	中尾 了	中坊 恵太
		湘南工科大学附属高等学校	1			滝 讓
		神奈川県立横浜南陵高等学校	1			大関 将季
		神奈川県立金利谷高等学校	1			原 祐介
		神奈川県立横須賀工業高等学校	1			平木 明史
		神奈川県立平塚工科高等学校	1			—
		クラーク記念国際高等学校	1			大森 隆司
		神奈川県立住吉高等学校	1			倉原 幸弘
		神奈川県立大和東高等学校		1		山田 悠貴
8	富 山	学校法人 不二越工業高等学校	1		士反 治久	松田 敏宏
9	石 川	石川県立金沢伏見高等学校	1		今川 徹	今川 徹
		金沢龍谷高等学校	1	1		杉本 雄一
		石川県立小松工業高等学校	1			川崎 裕貴
10	静 岡	東海大学附属静岡翔洋高等学校	1		諏訪間 裕視	諏訪間 裕視



文部科学大臣杯 第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

参 加 校 一 覧

No.	都道府県名	学 校 名	チーム数		監 督 代表引率者	引率者
			男子	女子		
11	愛 知	愛知工業大学名電高等学校	2		皆越 英次	太田 博隆
		清林館高等学校	1			原 直樹
		愛知県立津島高等学校	1			中村 奈津子
		名工学園 名古屋工業高等学校	2			渡邊 孝一郎
		修文学院高等学校	1			林 剛志
		名古屋大谷高等学校		1		水谷 千裕
		愛知みずほ大学瑞穂高等学校		1		前野 喜子
		ルネサンス豊田高等学校		1		井上 あい子
12	三 重	三重県立桑名高等学校	2		北村 英樹	伊藤 広樹
		鈴鹿高等学校	1			柳川 穂波
13	岐 阜	岐阜県立羽島高等学校	1		大橋 紀子	大橋 紀子
14	滋 賀	彦根総合高等学校	1		島本 昭宏	島本 昭宏
15	京 都	洛陽総合高等学校	2		秋元 充秀	秋元 充秀
16	大 阪	大成学院大学高等学校	1		青木 宏斗	青木 宏斗
17	兵 庫	独立行政法人国立専門学校機構 明石工業高等専門学校		1	森 美樹	—
18	島 根	島根県立松江北高等学校	1		勝部 祐希	勝部 祐希
19	岡 山	岡山理科大学附属高等学校	1		木村 佳苗	木村 佳苗
20	広 島	広島県立神辺高等学校	1		石井 浩次	—
21	愛 媛	愛媛県立松山工業高等学校	1		市川 芳昭	—
		今治精華高等学校	1			生田 好宏
22	高 知	高知県立岡豊高等学校	1		野村 佳弘	野村 佳弘
23	福 岡	福岡第一高等学校	1		菅原 直樹	菅原 直樹
24	大 分	大分高等学校	1	1	甲原 薫	甲原 薫
25	沖 縄	沖縄県立八重山高等学校	1		小山 正樹	西原 陽子
		沖縄県立中部商業高等学校		1		砂川 直子
		沖縄県立美来工科高等学校	1			山城 卓也
		沖縄県立首里東高等学校	1			東恩納義治
		沖縄県立具志川高等学校		1		小山 沢子
		沖縄県立美里工業高等学校	1			知念 肇
参加チーム数			57	16		

前年度 男子優勝校 京都府 洛陽総合高等学校
女子優勝校 神奈川県 神奈川県立大和東高等学校



文部科学大臣杯 第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

参加校・選手名 および 投球シフト (男子)

NO.	投球 シフト	都道府 県名	学校名	選 手 氏 名			レ ー ン								
				第1投球者	第2投球者	補 欠	1回戦			2回戦			3回戦		
							1G	2G	3G	4G	5G	6G	7G	8G	9G
1	A	北海道	立命館慶祥	③ 橋本 旺典	② 福嶋 大翔	③ 加藤 世那	32	34	26	11	13	15	38	40	42
2	A	北海道	札幌東商業	① 山岸 虹太	② 柳澤 優多	② 高橋 怜真	39	41	43	30	20	22	11	13	15
3	B	青森	八戸工大一	① 深堀 堅仁	③ 田中 悠太郎		41	43	45	24	26	28	15	17	19
4	B	青森	青森工業高A	③ 小川 結生	③ 安西 陸人	③ 中村 蓮也	18	20	10	39	41	43	24	26	28
5	B	青森	青森工業高B	② 白鳥 雄飛	② 引地 晶大	① 佐々木 耀大	28	30	32	19	21	9	34	36	38
6	B	青森	弘前工業	③ 富澤 蒼空	② 佐藤 愛羅		34	22	24	13	15	17	40	42	44
7	A	青森	聖愛	② 相馬 風汎	① 松山 禮斗		30	32	34	9	11	13	46	38	40
8	A	青森	弘前高校	② 森田 結人	① 一戸 洸佑		46	36	38	25	27	29	20	10	12
9	B	山形	創学館A	③ 保科 優斗	② 大門 弘夢	③ 石澤 奏人	31	33	21	10	12	14	39	41	43
10	B	山形	創学館B	① 保科 栎斗	① 松木 千寛	① 森谷 駿紀	14	16	18	35	37	39	32	22	24
11	B	栃木	文星芸大附属	② 小林 豊	① 熊谷 優芯		43	45	35	26	28	30	17	19	9
12	A	東京	本郷高校	① 有馬 智己	① 鳴影 峻一		35	37	39	26	28	30	17	19	9
13	A	東京	青稜	② 畑中 真啓	② 古田 遥人		31	33	25	10	12	14	39	41	43
14	B	東京	堀越A	② 三村 優	③ 川原 拓真		23	25	27	16	18	20	33	35	37
15	B	東京	堀越B	③ 吉田 瑛都	② 古澤 蒼眞		11	13	15	44	46	36	25	27	29
16	B	東京	日体大荏原A	③ 金城 裕和	③ 山下 鈴響	② 小島 輝	44	46	36	27	29	31	14	16	18
17	B	東京	日体大荏原B	③ 實川 優真	③ 松永 明士	① 大村 真澄	29	31	33	20	22	10	37	39	41
18	B	神奈川	クラーク国際	③ 大森 千空	③ 斎藤 優真		13	15	17	46	36	38	21	23	25
19	B	神奈川	湘南工大附属	① 滝沢 樹	② 滝 聖也		38	40	42	33	23	25	16	18	20
20	A	神奈川	住吉高校	② 彦田 晃嗣	③ 倉原 幸平		40	42	44	19	21	23	13	15	17
21	B	神奈川	釜利谷高校	① 伏見 大雅	① 井之脇 逢尊	① 小林 和総	17	19	9	38	40	42	31	21	23
22	A	神奈川	横浜南陵	② 新井 創太	② 小野寺 龍清	③ 宮崎 雄和	45	35	37	24	26	28	15	17	19
23	B	神奈川	平塚工科高校	③ 酒井 一希	① 西 英樹		32	34	22	11	13	15	36	38	40
24	A	神奈川	旭丘高校	① 石橋 樹	① 大長 陸斗		25	27	29	14	16	18	45	37	39
25	B	神奈川	横須賀工業	③ 川口 隼稀	③ 渡辺 一輝	③ 宮平 神羽	21	23	25	14	16	18	45	33	35
26	B	富山	不二越工高	② 近藤 勇斗	② 上野 鳩馬	① 吉崎 一翔	33	21	23	12	14	16	41	43	45
27	B	石川	金沢伏見	② 中川 侑哉	② 窪田 蒼士		20	10	12	41	43	45	22	24	26
28	A	石川	金沢龍谷	① 村田 圭	② 石川 心稀	② 中村 信輝	33	25	27	12	14	16	43	45	37
29	B	石川	小松工業	③ 中谷 清太	③ 藤部 飛龍	① 川岸 大峨	39	41	43	34	24	26	19	9	11
30	A	静岡	東海大翔洋	① 諫訪間 勘太	① 山内 隼太		42	44	46	21	23	25	16	18	20
31	B	愛知	愛工大名電A	② 橋本 篤輝	③ 岡田 有翔	② 清水 武	10	12	14	43	45	35	30	32	22
32	B	愛知	愛工大名電B	① 吉田 海翔	② 種村 純汰	① 向 翔音天	36	38	40	31	33	23	20	10	12
33	A	愛知	県立津島	② 塚本 悠太	② 中村 唯人		43	45	35	22	24	26	19	9	11
34	B	愛知	名古屋工業A	② 及川 大夢	③ 都築 啓		26	28	30	17	19	21	46	34	36
35	B	愛知	名古屋工業B	③ 酒井 蒼空	② 納富 雅裕	② 大杉 煌人	16	18	20	37	39	41	26	28	30
36	A	愛知	修文学院	③ 安本 順介	③ 林 優輝		28	30	32	17	9	11	40	42	44
37	A	愛知	清林館	① 東方 栄侍	② 原 理人		36	38	40	27	29	19	12	14	16
38	B	三重	桑名高校A	② 島田 侍音	② 山口 淩介	② 川村 碧	40	42	44	23	25	27	10	12	14
39	B	三重	桑名高校B	② 伊藤 渉	② 濑古 将成	① 長谷川 幹人	24	26	28	9	11	13	44	46	34
40	A	三重	鈴鹿高校	② 田中 皓也	② 植木 悠日		29	31	33	18	10	12	37	39	41
41	A	岐阜	羽島高校	③ 大橋 一輝	③ 土屋 太希		38	40	42	29	19	21	14	16	18



文部科学大臣杯 第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

参加校・選手名 および 投球シフト (男子)

No.	投球 シフト	都道府 県名	学校名	選 手 氏 名			レ ー ン								
				第1投球者	第2投球者	補 欠	1回戦			2回戦			3回戦		
							1G	2G	3G	4G	5G	6G	7G	8G	9G
42	A	滋賀	彦根総合高校	③ 山本 大貴	③ 中川 遼		34	26	28	13	15	17	42	44	46
43	B	京都	洛陽総合A	② 落合 唯斗	② 新井 希空		12	14	16	45	35	37	28	30	32
44	B	京都	洛陽総合B	③ 田端 奏和	② 口山 直矢	② 立花 仁貴	42	44	46	25	27	29	18	20	10
45	B	大阪	大成学院高校	② 大井 綾翔	① 山田 新登		19	9	11	40	42	44	29	31	21
46	B	島根	松江北高校	② 川上 結大	② 常松 洸仁		30	32	34	21	9	11	42	44	46
47	B	岡山	理大附属	① 重森 啓吾	① 山本 太一		35	37	39	28	30	32	13	15	17
48	A	広島	神辺高校	① 藤井 拓海	② 尾熊 峻太		41	43	45	20	22	24	10	12	14
49	B	愛媛	松山工業	① 日野 海翔	② 一色 怜舞		15	17	19	36	38	40	27	29	31
50	B	愛媛	今治精華	② 山内 陸	② 竹田 格		25	27	29	22	10	12	35	37	39
51	A	高知	岡豊高校	② 三宮 望叶	② 野村 鳩良		26	28	30	15	17	9	44	46	38
52	B	福岡	福岡第一	① 竹林 勇珂	③ 太田 純也	① 秋山 謙一	27	29	31	18	20	22	43	45	33
53	A	大分	大分高校	③ 吉良 陽希	③ 佐藤 優成	③ 徳永 辰也	37	39	41	28	30	20	9	11	13
54	B	沖縄	八重山高	③ 西原 宏哉	② 西原 宏紀		22	24	26	15	17	19	38	40	42
55	A	沖縄	沖縄県首里東	② 久手堅 憲莉	③ 下地 良尚	① 島袋 朝星	27	29	31	16	18	10	41	43	45
56	A	沖縄	美来工科高校	② 嶺井 芭亜人	③ 伊波 福太郎	① 翁長 辰綺	44	46	36	23	25	27	18	20	10
57	B	沖縄	美里工業高校	③ 上原 横	③ 渡久地 政汰		37	39	41	32	34	24	9	11	13

参加校・選手名 (女子)

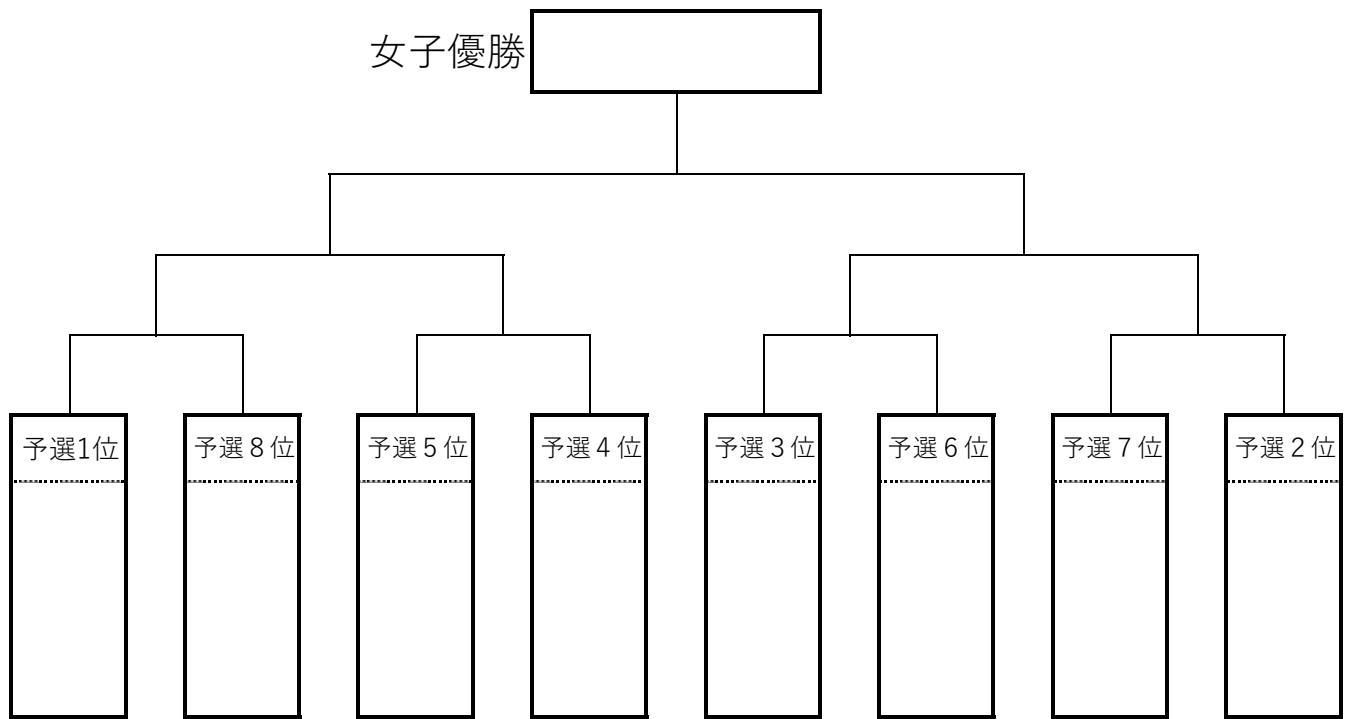
No.	都道府 県名	学校名	選 手 氏 名			レ ー ン								
			第1投球者	第2投球者	補 欠	1回戦			2回戦			3回戦		
						1G	2G	3G	4G	5G	6G	7G	8G	9G
1	北海道	札幌東商業	② 畑中 凜華	③ 硫光 美衣	① 古田 朱理	17	19	21	42	44	46	35	29	31
2	青森	聖愛	② 宇野 愛生	① 阿部 心香		10	12	14	35	37	31	24	26	28
3	青森	千葉学園高校	② 齊藤 瑠乃香	② 鈴木 心愛	② 藤田 紗衣	19	21	23	44	46	40	29	31	33
4	青森	弘前高校	② 山上 美空	① 駒井 風香		16	10	12	33	35	37	22	24	26
5	群馬	市立太田	① 山口 夏穂	① 大谷 美羽奈		9	11	13	34	36	38	27	21	23
6	群馬	高商大附	① 養田 莉子	① 日部 雪乃		21	23	17	46	40	42	31	33	35
7	神奈川	大和東	③ 濱崎 姫琉	③ 網代 羅夢		14	16	10	31	33	35	28	22	24
8	神奈川	旭丘高校	③ 柴田 早彩	① 近岡 愛		20	22	24	45	39	41	36	30	32
9	石川	金沢龍谷	② 瀬尾 彩芽	③ 田圃 きらら	② 裏谷 芽夕	11	13	15	36	38	32	21	23	25
10	愛知	愛み大瑞穂	② 前野 夢來	③ 住田 結萌		13	15	9	38	32	34	23	25	27
11	愛知	名古屋大谷	③ 水谷 柚茜	② 水谷 梨琴		18	20	22	43	45	39	34	36	30
12	愛知	ルネ高	② 石川 果楓	① 井上 夢望		24	18	20	41	43	45	32	34	36
13	兵庫	明石高専	① 秋元 真奈	① 一瀬 悠		15	9	11	32	34	36	25	27	21
14	大分	大分高校	③ 後藤 静	③ 上野 凜		22	24	18	39	41	43	30	32	34
15	沖縄	具志川高校	① 津嘉山 優衣	② 鶴岡 十美華		12	14	16	37	31	33	26	28	22
16	沖縄	中部商業高校	② 萩原 菜鈴	③ 稲福 観夕	② 川満 瑞菜	23	17	19	40	42	44	33	35	29

選手氏名の前の○内の数字は学年を示す。

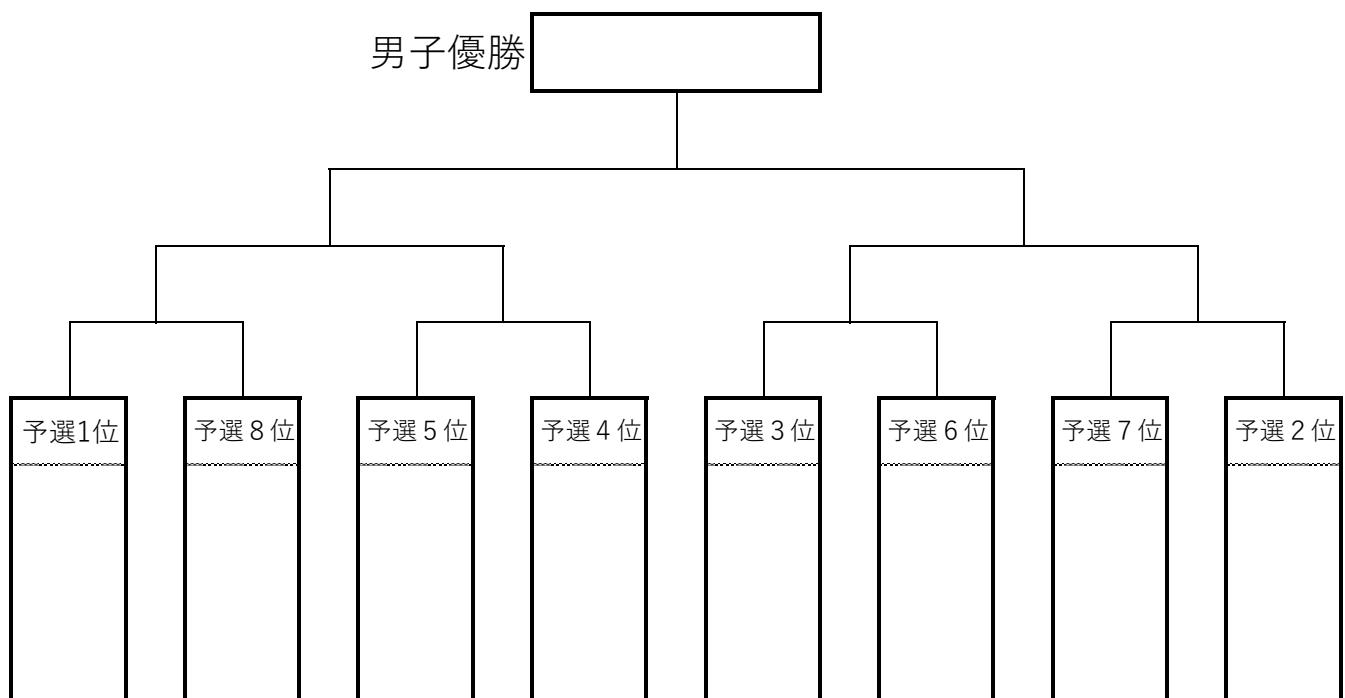


文部科学大臣杯 第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

女子決勝トーナメント



男子決勝トーナメント





文部科学大臣杯 第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会 栄光の記録

【第1回大会】 1994年12月22日～23日

参加：男子 46校 女子 30校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 南京都高等学校(京都) 森本 小橋				徳島市立高等学校(徳島) 広瀬 戸川			

【第2回大会】 1995年12月22日～23日

参加：男子 51校 女子 22校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 南京都高等学校(京都) 小橋 森本				静岡県立静岡城北高等学校(静岡) 片井 森			

【第3回大会】 1996年12月22日～23日

参加：男子 57校 女子 19校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 北海道石狩高等学校(北海道) 小川 川村				東海大学山形高等学校(山形) 斎藤 濵谷			

【第4回大会】 1997年12月22日～23日

参加：男子 66校 女子 22校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 福岡第一高等学校(福岡) 小松 花田 二宮				石川県立金沢伏見高等学校(石川) 德田 永井 新井			

【第5回大会】 1998年12月22日～23日

参加：男子 65校 女子 21校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 東京学園高等学校(東京) 松坂 天野 可児				神奈川県立金利谷高等学校(神奈川) 佐藤 高坂 吉川			

【第6回大会】 1999年12月22日～23日

参加：男子 69校 女子 29校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 福岡第一高等学校(福岡) 二宮 政時 中野				日本女子大学附属高等学校(神奈川) 一戸 福田			

【第7回大会】 2000年12月22日～23日

参加：男子 63校 女子 28校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 大阪市立泉尾工業高等学校(大阪) 北本 松尾				古川学園古川商業高等学校(宮城) 河原 河原			

【第8回大会】 2001年12月22日～23日

参加：男子 66校 女子 22校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 神奈川県立金利谷高等学校(神奈川) 井上 善波 本杉				大阪市立泉尾工業高等学校(大阪) 原田 西村 井上			

【第9回大会】 2002年12月22日～23日

参加：男子 68校 女子 23校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 八商学園秀岳館高等学校(熊本) 上村 日置 田中				福岡第一高等学校(福岡) 松永 本村			

【第10回大会】 2003年12月22日～23日

参加：男子 70校 女子 25校

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

男子				女子			
優勝 福岡第一高等学校(福岡) 佐藤 大串 異				岡山理科大学附属高等学校(岡山) 長谷川 武井			

【第11回大会】 2004年12月22日～23日

参加：男子 64校 女子 20校

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボウリングセンター

男子				女子			
優勝 新名学園旭丘高等学校(神奈川) 渡邊 小林				沖縄県立北谷高等学校(沖縄) 宮城 伊保			

【第12回大会】 2005年12月23日～25日

参加：男子 64校 女子 26校

会場：神奈川・川崎Aボウル

男子				女子			
優勝 金沢市立工業高等学校(石川) 宇田 西嶋 大西				沖縄県立北谷高等学校(沖縄) 宮城 伊保			

【第13回大会】 2006年12月23日～25日

参加：男子 64校 女子 26校

会場：神奈川・川崎Aボウル

男子				女子			
優勝 愛知工業大学名電高等学校(愛知) 今野 前田				高崎健康福祉大学高崎高等学校(群馬) 鈴木 小田切			

【第14回大会】 2007年12月22日～24日

参加：男子 56校 女子 20校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子				女子			
優勝 山本学園高等学校(山形) 越後 越後				神奈川県立横浜南陵高等学校(神奈川) 佐藤 奥 松岡			

【第15回大会】 2008年12月19日～21日

参加：男子 61校 女子 22校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

男子				女子			
優勝 福岡第一高等学校(福岡) 安里 升水 宮城				青森県立青森工業高等学校(青森) 坂井 根深			



文部科学大臣杯 第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会 栄光の記録

【第16回大会】 2009年12月18日～20日

参加：男子 68校 女子 30校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	大阪府立藤井寺工科高等学校(大阪) 演中 高田 重見	堀 越 高 等 学 校(東京) 箕輪 大嶋

【第17回大会】 2010年12月17日～19日

参加：男子 69校 女子 32校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	京都府立東稜高等学校(京都) 開原 西川	豊 川 高 等 学 校(愛知) 諸頭 渡辺

【第18回大会】 2011年12月16日～18日

参加：男子 64校 女子 32校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	青森山田高等学校埼玉校(埼玉) 今北 大村 伊藤	堀 越 高 等 学 校(東京) 箕輪 大嶋

【第19回大会】 2012年12月21日～23日

参加：男子 62校 女子 26校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	八戸工業大学第一高等学校A(青森) 工藤 工藤	津田学園高等学校(三重) 坂倉 中村

【第20回大会】 2013年12月20日～22日

参加：男子 72校 女子 24校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	金沢市立工業高等学校A(石川) 松田 田中 広瀬	福島東稜高等学校(福島) 大河内 斎藤

【第21回大会】 2014年12月19日～21日

参加：男子 72校 女子 24校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	埼玉県立大宮工業高等学校B(埼玉) 石川 飯島	愛媛県立今治西高等学校(愛媛) 御手洗 御手洗

【第22回大会】 2015年12月18日～20日

参加：男子 64校 女子 22校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	神奈川県立横須賀工業高等学校A(神奈川) 吉川 土方 長瀬	堀 越 高 等 学 校(東京) 照山 八木 越山

【第23回大会】 2016年12月23日～25日

参加：男子 63校 女子 22校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	堀 越 高 等 学 校(東京) 鈴木 古畑	神奈川県立横浜南陵高等学校(神奈川) 岩川 内田 横山

【第24回大会】 2017年12月22日～24日

参加：男子 60校 女子 24校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	国士館高等学校(東京) 関口 天川	和歌山県立和歌山北高等学校(和歌山) 伊勢川 山本

【第25回大会】 2018年12月21日～23日

参加：男子 59校 女子 23校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	神奈川県立横須賀工業高等学校(神奈川) 中尾 石川	福岡第一高等学校(福岡) 幸木 原野

【第26回大会】 2019年12月20日～22日

参加：男子 59校 女子 19校

会場：神奈川・川崎グランドボウル

	男子	女子
優勝	岐阜聖徳学園高等学校(岐阜) 世古 石川	静岡県立富岳館高等学校(静岡) 米山 鈴木

【第27回大会】 2020年12月18日～20日

参加：男子 44校 女子 14校

会場：三重・津グランドボウル

	男子	女子
優勝	桐丘学園桐生第一高等学校(群馬) 砂長 砂長	福岡第一高等学校(福岡) 满田 幸木

【第28回大会】 2021年12月24日～26日

参加：男子 47校 女子 20校

会場：三重・津グランドボウル

	男子	女子
優勝	沖縄県立中部商業高等学校(沖縄) 光崎 宜保	神奈川県立綾瀬西高等学校(神奈川) 崎山 濱崎

【第29回大会】 2022年12月23日～25日

参加：男子 43校 女子 21校

会場：三重・津グランドボウル

	男子	女子
優勝	名工学園名古屋工業高等学校A(愛知) 宮丸 及川 小柳	前橋市立前橋高等学校(群馬) 大野 渡辺

【第30回大会】 2023年12月23日～24日

参加：男子 55校 女子 19校

会場：三重・津グランドボウル

	男子	女子
優勝	沖縄県立首里東高等学校(沖縄) 宮城 座波 下地	神奈川県立綾瀬西高等学校(神奈川) 崎山 濱崎



前回大会成績
文部科学大臣杯第31回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会
成績表

2024年12月21日(土)～22日(日)

参加：男子60校・女子16校

会場：京都・MKボウル上賀茂

《男子の部》

優勝	洛陽総合高等学校(京都)				
	立花 仁貴	(1年)	山口 直矢	(1年)	宮崎 雄介
準優勝	彦根総合高等学校(滋賀)				
	山本 大貴	(2年)	中川 淳	(2年)	
第3位	日本体育大学荏原高等学校(東京)				
	山下 鈴響	(2年)	植木 詠章	(3年)	實川 優真
第4位	愛知工業大学名電高等学校(愛知)				
	岡田 有翔	(2年)	橋本 篤輝	(1年)	亀井 奏良
第5位	神奈川県立住吉高等学校(神奈川)				
	倉原 幸平	(2年)	彦田 晃嗣	(1年)	
第6位	学校法人鈴鹿享栄学園鈴鹿高等学校(三重)				
	大北 隼	(3年)	田中 皓也	(1年)	
第7位	沖縄県立首里東高等学校(沖縄)				
	下地 良尚	(2年)	宮城 快仁	(3年)	久手堅 憲莉
第8位	沖縄県立具志川高等学校(沖縄)				
	上原 律紀	(2年)	小山 嵐士	(2年)	豊里 友汰
ハイケーム	清水 武	(愛知・愛知工業大学名電高等学校1年)			300
ハイシリーズ	宮城 快仁	(沖縄・沖縄県立首里東高等学校3年)			805

《女子の部》

優勝	神奈川県立大和東高等学校(神奈川)				
	網代 羅夢	(2年)	高田 真帆	(3年)	濱崎 姫琉
準優勝	愛知県立木曽川高等学校(愛知)				
	豊田 こころ	(1年)	山之内 詩	(3年)	
第3位	愛知みずほ大学瑞穂高等学校(愛知)				
	前野 夢來	(1年)	住田 結萌	(2年)	
第4位	北海道札幌東商業高等学校(北海道)				
	佐藤 美葉	(3年)	畠中 凜華	(1年)	神田 凉夏
第5位	沖縄県立中部商業高等学校(沖縄)				
	荻堂 葉鈴	(1年)	稻福 観夕	(2年)	川満 瑞菜
第6位	神奈川県立横浜南陵高等学校(神奈川)				
	松田 日茉莉	(3年)	小針 さくら	(3年)	
第7位	金沢龍谷高等学校(石川)				
	田圃 きらら	(2年)	吉田 知花	(1年)	瀬尾 彩芽
第8位	弘前学院聖愛高等学校(青森)				
	宇野 愛生	(1年)	松山 蓮音	(3年)	
ハイケーム	住田 結萌	(愛知・愛知みずほ大学瑞穂高等学校2年)			278
ハイシリーズ	網代 羅夢	(神奈川・神奈川県立大和東高等学校2年)			723

祝 開催

第32回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

皆さまのご活躍を祈念いたします



京都の総合アミューズメントパーク

MKボウル上賀茂

☎(075) 701-2131

公式HP <http://www.mkciel.net>

パルケ上賀茂
上賀茂グランピングパーク